

デジタルプリントプロダクションの構築を支援する『PC OneFlow®』に新機能追加

生産スケジュール策定、ジョブリカバリーを自動化

J SPIRITS の MIS、ジクスの検査システムとも連携

株式会社グーフ（東京都港区浜松町／代表取締役 CEO：岡本幸憲）は、2017年2月末に高効率のデジタルプリントプロダクションの構築を支援する『PC OneFlow』に新機能を追加します。新たに追加されるのは、工務担当者がプロダクションプリンターにジョブを割り当て生産計画策定する機能と、印刷検査の結果からリカバリー印刷や原因の追跡調査を可能にする機能です。また、新機能追加に伴い、株式会社 J SPIRITS の MIS（経営情報システム）『PrintSapiens』と、ジクス株式会社のデジタル印刷向け品質検査システム『Theory』と連携*します。

印刷会社に利益なき繁忙をもたらしている大きな要因は多品種・小ロット化です。消費者嗜好の多様化によりクライアントは顧客の属性や購買行動ごとにカタログやチラシなどの販促印刷物の内容を変え、より費用対効果の高いマーケティング活動を指向しています。すでに顧客ごとに訴求の内容を変えるために、バリエーション印刷技術を駆使し、1枚1枚異なる紙面の販促印刷物を利用して、効果を挙げているケースも見受けられるようになりました。また、生徒の学習進度に応じて問題集なども提供されるようになり、学習参考書などのページ物印刷でも多品種・小ロット化が進んでいます。

印刷会社では注文数の増加に伴い、デザイン・制作やプリプレス、製本・後加工・発送のポストプレスの作業や手配が増えるとともに、サービスごとの個別生産ワークフローが発生し、生産現場が煩雑化する傾向にあります。生産現場の煩雑化は事故発生リスクの増大につながり、SLA*履行に影響を及ぼします。

一方、印刷技術は、多品種・小ロットに対応できるデジタル印刷機、プリプレス作業を効率化する自動組版、印刷データのプリフライト・ノーマライズ、面付けの自動化、また、各装置間で生産情報を交換するためのジョブ定義フォーマット『JDF』などにより、大きく進化しています。しかし、それら単体では部分最適にとどまり、各工程間を貫く効率化、自動化をもたらしませんでした。

株式会社グーフは、そうしたプリントプロダクションが抱える問題点を解決するため、『PC OneFlow』を開発。2016年2月にリリースして以来、全体最適化のワークフローを実現と、大量の多品種・小ロットジョブのアウトプットの増加を支援しています。

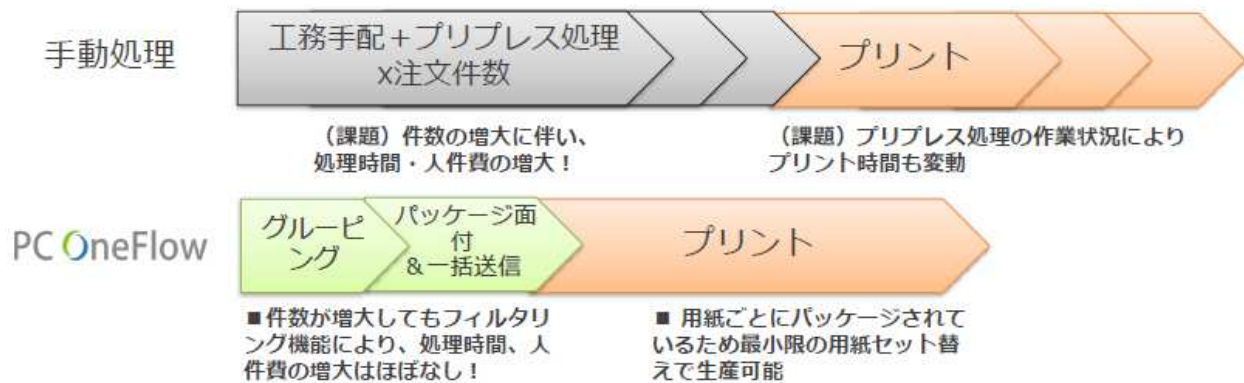
*サービスの提供者とその利用者間で結ばれるサービスレベルに関する合意。印刷業務の場合、納期や品質など

自動でジョブをグルーピングする『PC OneFlow®』

『PC OneFlow®』は受注した印刷データのプリフライトチェック後、納期・出荷先・用紙（メディア）・製造方法などの仕様情報をもとにジョブを選別。本身と表紙、カバーなど印刷物を構成するパーツに分解し、用紙（メディア）や納期、色、加工方法などが同じジョブをグループ化します。グループ化したジョブは利用デバイスに最適に面付けされ、一括して印刷することができます。これによりプリントジョブ数を大幅に削減することができます。

印刷した後は、必要に応じて面付け時に自動配置したバーコードなどに基づき、後加工機器で本身、表紙、カバーなどを製本したり、抜き、断裁など加工したりします。発送時には注文情報を基に発行されたバーコードから、異なる印刷物でも同じ出荷先であればまとめて出荷する手配が簡単にできるようになります。

手作業の場合、ジョブ件数の増加に比例して工数も増えてしまいます。プリプレス作業が滞れば、プリント作業にも影響し、ひいては出荷の遅れを発生させます。『PC OneFlow』により、ジョブが自動的にグループ化されることで、工務作業者の負担や用紙の入れ替えの回数が減り、限られ時間、人員の中でアウトプット量を増やすことが可能になります。



新機能追加を追加

【生産スケジュール・カレンダーによるデバイスアサイン】

これまでの『PC OneFlow®』では、生産スケジュールにグループ化した後のジョブを割り当てることができませんでしたが、新機能では工務担当者が生産スケジュールやカレンダーにジョブを割り当てることができ、生産予測を可視化することができます。また、予測に対する実績から生産効率の改善の情報を得ることが可能になります。デジタル印刷機を保有している場合、特定の機種に負担がかかり過ぎないように、機械の空き状況を見ながら予めジョブを割り振ることで、最大のアウトプットを求めることができます。(2017年3月リリース予定)

【リカバリージョブのロジカル運用・トラッキングによる事故リスク改善】

1枚1枚内容が異なるバリエーション印刷では、検品作業中に印刷紙面に不良があった場合、そのページの再出力が必要になります。『PC OneFlow』と連携する面付けモジュール『Impostrip』(UltimateTechnoGraphics社/カナダ)※では面付け時にページごとのID(バーコード/テキスト)を配置することが可能です。『PC OneFlow』で紙面検査時にID情報をフィードバックすることで、不具合が発生したページを特定するとともに、再出力すべきページの指示が容易になります。また、再出力する際には他のジョブとグループ化することで、無駄な出力業務を抑えることができます。(2017年3月リリース予定)

※株式会社グーフは UltimateTechnoGraphics 社プロダクトの国内販売総代理及び VAR (ValueAddedReseller) をしております。

【MIS (経営情報システム) との連携】

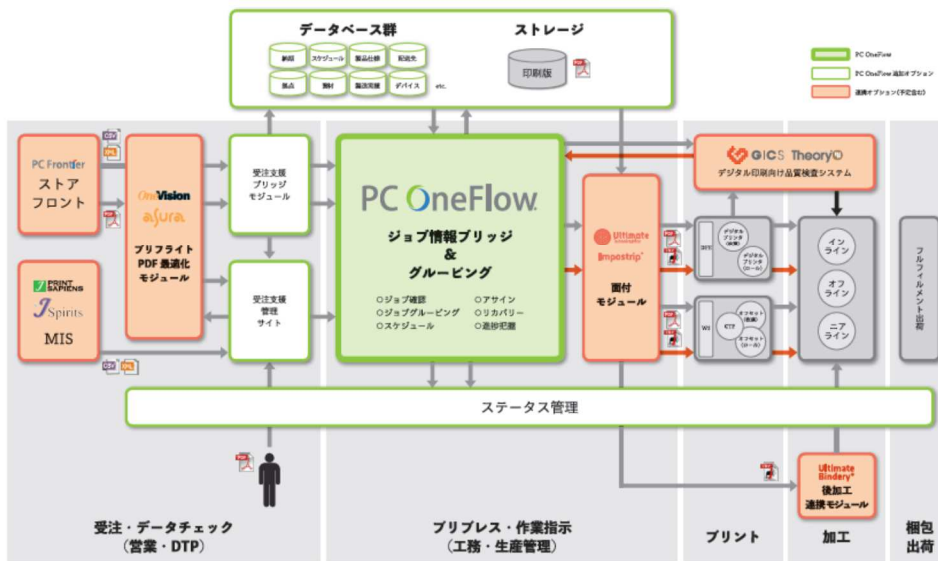
『PC OneFlow®』は株式会社 J SPIRITS の MIS『Printsapiens』と連携します。これにより『PrintSapiens』に入力された受注情報から、『PC OneFlow®』でグループ化に必要なパラメータ

ーを自動で抽出することができます。これまでは『PC OneFlow®』の入口は、受注情報が自動で収集できる Web to Print が前提でしたが、MIS との連携により営業担当者が受注したジョブからも受注情報が取れるようになります。(2017年頃リリース予定)

【検査装置との連携】

ジクス株式会社のデジタル印刷向け品質検査システム『Theory』と連携します。『Theory』では印刷紙面の絵柄や文字、可変部分などを検査し、『PC OneFlow®』に品質不良や欠陥情報をフィードバックし、リカバリーの自動化を実現します。(2017年秋リリース予定)

goof が提供するデジタルプロダクション支援ツールの全体像



株式会社ゲーフについて

“すべての IT と連携する紙” “紙媒体のアプリケーション化” を理念に 2012 年 6 月に設立。エンタープライズレベルで Web to Print 及びデジタル印刷テクノロジーを活用したプロダクションワークフローの構築を支援しています。また、デジタルマーケティングとペーパーメディアを連携させ、デジタルとフィジカルでの販売促進活動をリアルタイム&シームレスに支援しています。ゲーフはお客様にとって必要不可欠なビジネスパートナーとなることを目指し、各種サービスの企画、構築、運営をサポートします。

＜本件へのお問い合わせ先＞

TEL 03 - 5733 - 0886

株式会社ゲーフ

105-0013 東京都港区浜松町 1-2-14 ユーデン浜松町ビル 7F

<http://www.goof.buzz/>